

ふるさと歴史アラカルト

岩国と『花燃ゆ』ゆかりの人物13 周布政之助

(1823~1864年)

今回は高杉晋作や久坂玄瑞などにも慕われていた周布政之助を紹介します。周布は文政6(1823)年、長州藩士の家に生まれました。早くに父を亡くしますが、藩校明倫館で学んだ後、明倫館の都講(塾頭)を経て政務役となり、藩の政治に関わるようになります。その後、謹慎と復帰を繰り返しながら、革新派として藩の政治を中心的に動かす、高杉や久坂などの若い志士たちと藩政府をつなぐ役割も担いました。元治元(1864)年、7月19日に起きた禁門の変と、その後に棕梨藤太を中心とした保守派が藩政府の実権を握って江戸幕府への恭順を進めたことに責任を感じ、9月25日に自刃しています。

使者の1人が周布でした。この経緯について、長州藩士兼重慎の談話に次のように記されています。周布が「長州藩には末家が3、4軒あるけれども、このような大難を引き受けてやり通す人がいないように見える。情けないことだ」と言ったのに対し、兼重が「それはそうだが、まずは末家の誰かに一任しないといけない。私の考えでは吉川経幹殿のほかに方法はあるまい」と言う。周布は「なるほど、もつともだ。吉川公ならばまとまりがつかう」と述べています。また兼重が「吉川公をどういふ人物と鑑定しているか?」と尋ねたところ、周布は「善良な人である。守成は得意だが、撥乱には乏しい」と答えています。なお実際に経幹と会った際に周布は「(藩政府責任者の1人として)入用であればこの首もいつでも差し出します」と述べ、経幹から短刀を一振与えられています。周布の自刃の際には、この短刀が使われたとも伝えられています。

岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館

住所：横山二丁目7-19 ☎0452
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)

- ※1 長州藩家老の福原越後、国司信濃、益田右衛門介
- ※2 長州出兵のこと
- ※3 創業し、成立した事業を守る
- ※4 乱れた世をすずめ治めること



▲『周布政之助遺書』(吉川史料館蔵)

岩国市 人口・世帯

人口 140,200人【前月比 - 80人】 男性 66,420人 女性 73,780人

世帯 66,468世帯【前月比 + 13世帯】 ※外国人人口を含む(平成27年10月1日現在)

交通事故発生件数 9月分事故件数 39件(384件) 死者数 1人(3人) 傷者数 48人(440人)

※高速道路発生分を除く

※()内は平成27年累計

広報テレホン

休日在宅医療機関、イベント情報などをお知らせしています。テレホンサービス ☎231234

目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。音声読み上げのためのテキスト版を、ホームページに掲載しています。

お問い合わせはお気軽に、秘書広報課広報班へ ☎295016 FAX213337